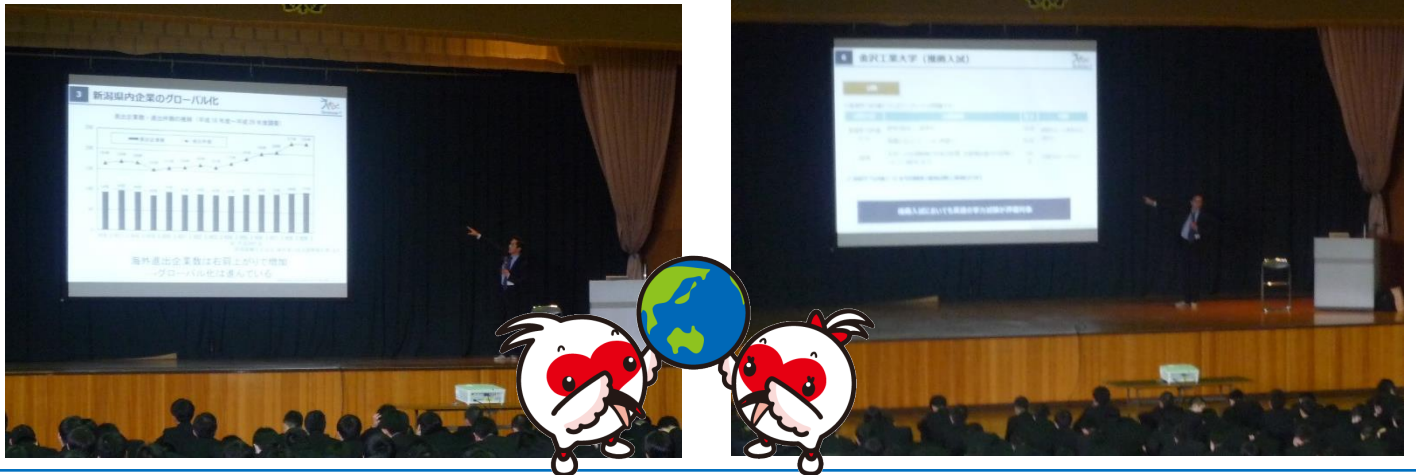




平成31年3月15日（金）1・2年生を対象に、グローバル化社会に対する理解を深め、国際社会を生き抜く力の1つである英語の運用能力向上を目的に、ベネッセコーポレーションの佐藤 大起様を講師にお招きし、本校体育館で講演をしていただきました。



【講演内容】

- 新潟県内の海外進出企業数は平成29年で228件、6年連続増加。
- 労働力不足により外国人労働者も増加。
- 就職後、機械の説明書は英語。大学でも調べものは英語。
- 大学への推薦入試でも英語力が要求される。
- 英語の文章の書き方。書くこと＝考えたことを伝えること。まず、考えること。
- 主張 → 理由を思いつく → 発想を膨らませる → 整理してから英語に。
- 授業を大切にし、復習をすることが重要。

【生徒の感想（スキルアップシートより）】

- 英語の必要性が再確認できた。グローバル化が進んでいるためコミュニケーションを英語で話さなければならぬ日が来るかもしれないと思った。
- これからの社会はグローバル化が進んでくるので、英語をしっかりと勉強して海外の人とコミュニケーションが取れるようになりたい。
- この講演会では英語を身につけるのが重要なことだとわかりました。どのような進路を選んでも英語は必要な科目なので、これからはもっと勉強して、今後の進路に役立てたいです。
- 自分が行けるなら海外で仕事をしてみたい。
- 今回の話を聞いて、英語上手になりたいと思うのはもちろん、海外に行ってみたいと思いました。
- 授業に全力を尽くす、欠席・遅刻をしない、自分の意見を持つ、この3つを学びました。
- 海外進出が増加している企業では英語力は欠かせない。100%授業集中。
- GTECの見方がすごくよくわかりました。苦手なリスニングを今後どうしたら克服し、自分に足りない部分の勉強の仕方を理解することができました。"Writingのポイント"によって要点のまとめ方や型がよくわかりました。Becauseとなる文をたくさん探すことが大事ということがわかりました。そこからどんどん掘り下げていくことで長文で理由のあるしっかりした文になる。
- 英語に関しては恐れずに思い切って書いてみたり、話したりすることが大事だと学んだ。

【生徒の変容と身についた力（スキルアップシートより）】

- 海外に行ってみたい、海外で仕事をしてみたい、という意欲を持つ生徒が増加した。
- 社会のグローバル化と英語力の必要性を再認識し、英語学習への意欲が高まった。
- 英語の文章の構成を理解し、理由のある論理的な文章の書き方を学び、英語への苦手意識を克服して挑戦する気持ちが高まった。